

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【リハビリテーション室】

指標名

リハビリテーション実施率の週日化

目標：ゴール

平日、土曜、日曜、祝日におけるリハビリテーション実施率の週日化（休日/平日の実施率が80%以上）
平日の実施率を下げずに、休日における実施率の増加（休日の実施率65%以上）

目標：ゴール達成による効果

リハビリテーションの早期開始、休日のリハ頻度を拡大することで、早期退院と社会復帰に繋げる。

目標：ゴールに対する成果の状況

入院患者処方数（一日平均）は、2024年度164.4件、2025年度162.2件でほぼ同等であった。実施率（2024→2025年度）は平日74.4→78.9%、休日44.4→69.8%となり、『休日の実施率65%以上』を達成した。また、休日/平日の実施率は59.7→88.5%となり、『休日/平日の実施率が80%以上』の目標も達成した。（休日は、土曜、日曜、祝日、振替休日、創立記念日、年末年始期間とした。）

目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A+ : 目標を多少上回って達成
- ☒ A : 目標を達成
- ☐ B+ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

平日休日関係なく、リハ室スタッフによるリハ時間の提供が、毎日行われることが理想的である。少なくとも土曜あるいは日祝のいずれかで予定を組み、連日リハ休みとならないようにしたことと、休日出勤者数を増やしたことで達成できた。また、リハ室スタッフによるリハ提供時間を調整できない場合は、自主運動の指導、または病棟看護師への依頼を行い多職種での連携に取り組んだ。新人教育を進めながら、平日の実施率を年度平均80%以上を満たすこと、リハ中の転倒転落件数の低減や代理担当によるインシデント発生の低減など医療安全を絡めて検討したい。

その他

